

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	88%	4%	4%	4%	・広い遊戯室やお昼寝部屋など確保されている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	64%	12%	0%	24%	・配置数は大変そうではありますが、専門性に関しては適切だと思う。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	84%	4%	0%	12%	・バリアフリーは当たり前に行われており、何かあれば常に知らせがあり、日々のことは連絡帳でしっかり伝わる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	84%	8%	0%	8%	・ふれあい通園や相談等で利用（保護者）しているが、いつも綺麗である。机や椅子も子どもに合わせた高さで問題はない。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	92%	4%	0%	4%	・親の意見、職員の方の専門的な意見を踏まえて作成している。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	80%	4%	0%	16%	・子どもに合わせて、いろいろな項目で飽きずに活動できるように支援している。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	92%	4%	0%	4%	・きちんと支援していると思う。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	84%	8%	0%	8%	・毎日違うプログラム、子どもの笑顔を見れば分かる。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	52%	8%	4%	36%	・どんぐりが終わった後、送迎で保育園に帰り、その後少しの時間ではあるが、保育園のお友達と過ごしている。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92%	8%	0%	0%	・ちゃんと説明してもらった。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	88%	8%	0%	4%	・モニタリングも相談もできている。計画を説明していただき、納得して通わせている。

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	72%	4%	4%	20%	・ふれあい通園がありますし、いつでも相談できる環境になっている。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていますか	92%	4%	0%	4%	・今は送迎を利用しているので、連絡帳でしっかりと共通理解ができています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	84%	12%	0%	4%	・懇談会もふれあい通園もあり、送迎時等も相談させてもらっている。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	72%	12%	4%	12%	・保護者懇談会もありますし、各々の子どもの特性も違うけれど、何か心の中のどこかが繋がっている感じがする。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	92%	4%	4%	0%	・いつも相談に乗ってもらっている。職員の都合よりも、こちらの都合で先延ばしにしてもらうことが多い。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%	4%	4%	0%	・悩んだ時に聞いたり、相談したりして、教えていただいている。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	88%	4%	0%	8%	・毎月行事の案内はあるし、日々の課題などもプリントでいただいているので、何も問題はない。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	92%	4%	0%	4%	・きちんと連絡をいただいている。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	40%	12%	4%	44%	・子どもに何かあればすぐに連絡がくる。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	36%	4%	4%	56%	・防災訓練もきちんとしていて、逃げている様子。訓練で終わることを願いつつ大変ですが、訓練は続けてほしいです。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	92%	4%	0%	4%	・笑顔で過ごしている様子である。 ・いつも楽しそうに登園している。
	23	事業所の支援に満足しているか	92%	4%	0%	4%	・子どもの成長を見る限り満足である。

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。